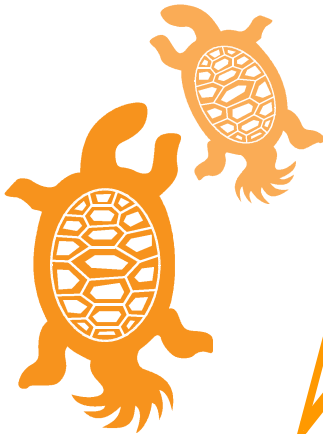


## 授業改善のポイント 第6学年

### 目的や意図に応じて情報を収集し解釈する力を付ける

#### ①長文を読む機会をもちましょう

<p>いのは、わらわれのこさい日本のはち、追</p> <p>この国がそ巢チ 当もこれこのたナ外ウ</p> <p>はで、らわのれをい失たつ野に助なくまのめス来オ</p> <p>ら、らみま取に、か、な、で、ハ、の、ハ、の、種、</p> <p>わ、体、連、か、で、合、つ、り、間、が、外、国、ス、ハ、</p> <p>れ、の、れ、を、い、た、つ、野、セ、イ、ヨ、ウ、オ、マ、</p> <p>小、さ、こ、こ、来、種、す、る、と、マ、ル、ハ、に、ハ、</p> <p>の、れ、た、に、の、マ、ル、ハ、に、ハ、に、ハ、に、ハ、</p> <p>の、ハ、チ、は、大、き、追</p>	<p>石川</p> <p>山本</p> <p>「ミドリガメ」も外来種とは、驚きま</p> <p>した。</p> <p>「カミツキガメ」もペットとして入</p> <p>つてきました。他にそのような動</p> <p>物はいま</p>	<p>石川</p> <p>山本</p> <p>「カミツキガメ」もペットとして入</p> <p>つてきました。他にそのような動</p> <p>物はいま</p>
--	--	--



まず、「何が書いてあるか」の大体を読ませます。

次に、「外来種」というキーワードが「          」に入っていることを確認し読ませます。（この時に、キーワードを**円で囲んだり、線を引かせたり**すると、子どもの目に入りやすくなります。）

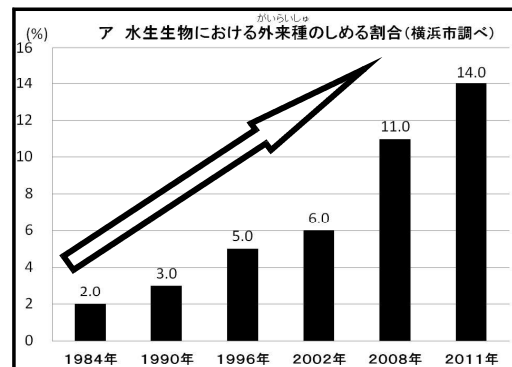
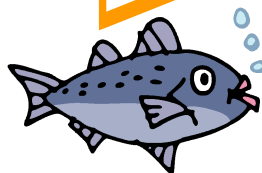
最後に、このキーワードを吟味します。

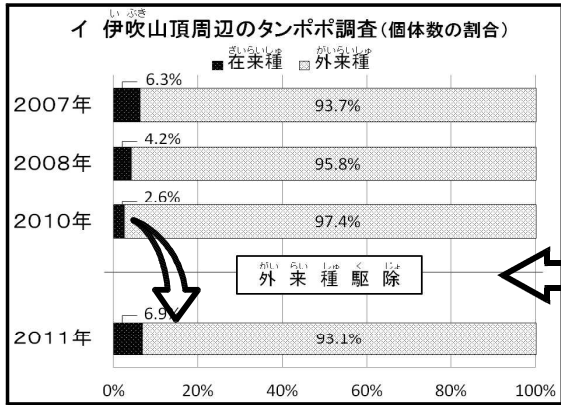
本調査では、「ミドリガメ」は、別名「ミシシippアカミミガメ」という内容を理解しないとミドリガメを2種類の外来種と数えてしまい、外来種の数を正確に数えられないようになっています。

各学力検査や学力調査、センター入試などにもこの長文傾向は続いています。日頃から、長文に慣れさせましょう。

#### ②非連続型テキストを読ませましょう

水生生物では、外来種のしめる割合が年々増えているんだなあ。





外来種を駆除すると、在来種が増えるんだな。



変化に  
着目！！

③情報を解釈させましょう ~どういう目的で何を探すかを明確に読むと解釈せざるを得なくなる~

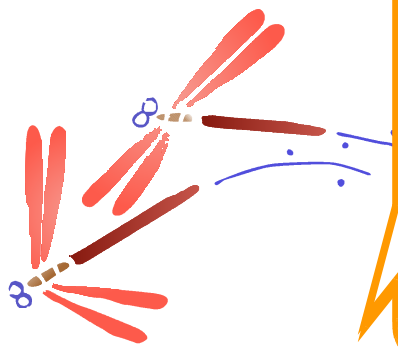
「在来種を保護する」資料を探す。文章中にそれに近いキーワードが必ずあります。



**ク 小笠原の作戦**  
 小笠原諸島では、海によってへだてられた小さな島において、独自の進化をとげた多くの在来種を保護するために、上陸する人に、くつ底の土やバッグのポケット、衣服に植物の種が付いていないかを確認し、外来種を持ちこまないようにさせている。結果、小笠原では、外来種との混血が進まず、在来種による自然が保たれている。

**カ ある市のアライグマ捕かく調査から**  
 人里に下りてきて農作物を荒らすと言われていたアライグマを、市民の税金を使って捕かくし、実態調査を実施した。今後、この県内にいると言われている四〇〇頭のアライグマをすべて捕かくする計画もある。農作物の被害は減っている。

**オ 「トンボ池」づくりで在来種の生きる場所を復元する**  
 全国ですでに四〇か所近く在来種を保護するトンボ池が整備されている。昔の子どもたちが親しんだ水辺を復元し、水田や湿地を再現し、水生生物を植えたら、二十二種類のトンボが飛来した。少し時間はかかるが、地域や学校やPTAが協力し市民ぐるみの活動が行われている。



探しているキーワードや大事な部分を、囲んだり線を引いたりします。

## 情報を整理・分類する力を付ける

思考ツールを使って整理させましょう～マトリクス～

動物名	ブラックバス	アライグマ	セイヨウマオ オハナバチ
来た理由	むつりを楽しむ。	ペットとして飼うため。	A □
外来種が引き起こす問題	在来種を食べる。	家畜をおそっている。農作物を食べる。	B □

### 比較するもの

(本調査では、「外来種の動物」。)

### 比較する観点

(本調査では、「外来種が来た理由」と「外来種が引き起こす問題」。)

マトリクスを使うことにより、**観点で、比較するものを見る**ことになり、それぞれの差異が明確になります。

本調査では、「マトリクス」という「分類」・「整理」・「比較」をするための思考ツールを使いましたが、他にも、昨年度調査の「ベン図」(比較)や、「マップ」(関連付ける)、「チャート」(分類)、「ポーン図・くま手図」(多面的に見る)、「ピラミットチャート」(構造化)など、様々な思考ツールがあります。

今回のマトリクスは、「来た理由」と「外来種が引き起こす問題」という「**観点**」で、それぞれの「**動物**」を比較するために使用しました。

「ベン図」は、それぞれの観点の**共通点を、明確に捉える**ことができます。思考ツールには、その**思考させたい内容に合った使い方**があります。

子どもに「情報を整理・分類する力」を付けさせるために、思考ツールは有効な手立てです。



# 説得力のある文章を書く力を付ける

自分の考えを畳み掛ける双括型の構成で書かせましょう

**頭括型**は、相手に結論を先に述べ、あらかじめ視点をもって読んでもらえます。(新聞など)  
**尾括型**は、理由を列挙した後に、結論を述べるので、考えを推測しながら読んでもらえます。

終わり	中		始め
④ あなたの考え このように、 以上のことから、	③ 資料 資料□によると、 資料□にあるように、	② 資料 資料□によると、 資料□にあるように、	① 「外来種を駆除する」 か、「在来種を保護する」 のどちらかの立場の表明 わたしは、〜と考えます。

**「双括型」**  
 「終わり」は、「始め」の「コピー」では、ありません。「中」で述べた根拠(これを短く要約したもの)とつなげて、自分の意見を述べ、読み手に、自分の伝えたいことを畳み掛けます。

わたしは、**在来種を保護すべきだ**と考えます。  
 資料アによると、横浜市の水生生物の中で外来種のしめる割合は、年々増加しています。二〇一一年には、**十四パーセント**になっています。外来種のしめる割合が増えていくことは、在来種のしめる割合が減っていくということですが、このままでは、**外来種が増え、在来種が減っていきま**す。ですから、**在来種から在来種を守っていかなければなりません**。  
 資料クによると、**小笠原諸島では、くつ底の土やバックのポケット、衣類に植物の**がついているかどうか確認して上陸させているそうです。**外来種を持ちこまないことが在来種を外来種から守ることにつながると考え**ます。  
 このように、**外来種を日本に持ちこませないこと**で、**在来種を保護していくべきだ**と考えます。

「始め」は、**立場の表明**です。簡単に、自分がどういう意見をもっているのか、読み手に知らせます。

**【引用】**  
 自分の意見を強く裏付けるために、文章中に**資料の言葉を正確に引用**し、**根拠**にします。

**【数値】**  
 自分の意見を強く裏付けるために、**具体的な数値を根拠**にします。